

夏の情報教育シンポジウム論文原稿の書式について

並木 美太郎

東京農工大学 大学院共生科学技術研究員 システム情報科学部門

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

e-mail: namiki@cc.tuat.ac.jp

概要

本稿では、夏の情報教育シンポジウム(SSS2006)の論文原稿の書式について説明します。原稿は A4 紙、ワープロ書きを原則とし、そのままオフセット印刷に出せる品質が要求されます。1 ページの上下左右の余白は 25~25.4mm とします。概要は 1 段、本文は 2 段組で書くことを推奨しています。概要は、300~600 字程度で書いて下さい。本文の各章のタイトルは、少し大き目の文字で目立つように書き、日本語はゴシック、ラテン文字・英字・数字は Arial か Roman を推奨します。また、概要や本文は明朝, Century, Roman を推奨します。

1. はじめに

夏の情報教育シンポジウム(SSS2006)への論文のご応募、ありがとうございます。以下の説明に従って原稿を作成して下さいませう、お願い致します。

2. 全体的なこと

必ず、A4 の用紙にワープロを使って作成して下さい。余白は上下左右、25mm~25.4mm(=1 インチ)として下さい。原稿にはページ番号を振らないで下さい。

タイトルは 14 ポイント以上のゴシック体で書き、筆者・所属・住所・連絡先(E-mail アドレスなど)の順に書いて下さい。1 ページ目には概要を必ず付けて下さい。また、1 ページ目左下(脚注部分)には、英文でタイトルと筆者、所属を書いて下さい。特に指定のない部分のフォントは、日本語は明朝、ラテン文字・英字・数字は Century か Roman を推奨します。

3. 書き方

3.1 概要の書き方

概要は 1 段で、300~600 字を目安に書いて下さい。文字のポイント数は本文よりもやや小さ目にして下さい。10 ポイントが推奨です。

3.2 本文の書き方

本文は 10.5~11 ポイント程度のフォントを用い、2 段組で書いて下さい。22 文字×42 行×2 段をおおまかな目安とし、段間は約 2

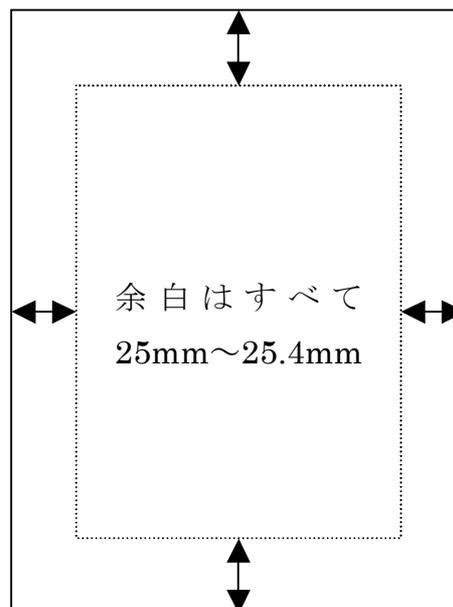


図 1. 余白のサイズ

文字分を空けるようにして下さい。各章のタイトルは、少し大きめのゴシックで目立つように書いて下さい(半角英数字は Arial など)。章立ては「1.はじめに」で始め、適切な章を設け、最後は「*.おわりに」として下さい。「参考文献」も必要に応じて付けて下さい。「索引」「目次」「図目次」などは不要です。

3.3 ページ数とページ番号

フルペーパーは4ページから8ページ(講演と質疑応答あわせて30分)、ショートペーパーは2ページから6ページ(講演と質疑応答あわせて20分)、デモンストレーションは1ページ(最終原稿は2ページ以内)です。なお、ページ番号は付けなくて下さい。

3.4 貼付図表の扱い

図や表の表示位置の下には、「図 1 ??の??」「表.3 ??と??の関係」のような表示(キャプション)を記入して下さい。

3.5 当日の発表環境について

当日、会場に用意されている機材は OHP とビデオプロジェクタです。論文執筆の際に発表原稿も作成される際は、参考にして下さい。

3.6 著作権の委譲について

お送りくださった原稿の著作権は

情報処理学会著作権規程
<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/chosakuken/>

に従ってお取り扱いします。

4. 提出について

提出などの方法については、決定次第 SSS2006 のホームページ

<http://ce.tt.tuat.ac.jp/index.php?SSS2006>
または、

[http://oberon.nagaokaut.ac.jp/sss2006/
reg_index.htm](http://oberon.nagaokaut.ac.jp/sss2006/reg_index.htm)

にてお知らせ致します。

5. その他

採録された場合には、必ず参加申込みを行なう必要があります。参加申込みが始まりましたら、申込まれますようお願い致します。参加申込みをされない場合は、採録取消となりますので、お気をつけください。

また、プログラム等、SSS2006 に関する情報は、

<http://ce.tt.tuat.ac.jp/index.php?SSS2006>
で随時公開しています。

ご不明な点、ご質問等がございましたら SSS 全体については、

sss2006-staff@ce.tt.tuat.ac.jp
論文投稿については、
sss2006@oberon.nagaokaut.ac.jp
までお寄せください。

6. おわりに

本稿では「夏の情報教育シンポジウム(SSS2005)」の論文執筆上の注意について述べました。箱根でお会いできることを楽しみにしております。

参考文献

- 1) 情報処理学会:「情報処理学会著作権規定」,
<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/chosakuken/>
- 2) 情報処理学会:「情報処理学会論文誌(ジャーナル)」原稿執筆案内,
[http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/shippitsu/
shippitu.html](http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/shippitsu/shippitu.html)